

# こころ+いのち 東北まなび旅 「生きる力を育む東北」

## 教育プログラム「震災・防災・減災学習編」(例)



目的	東北を学ぶことにより「生きる力を育む」						
学びの過程	つかむ 課題設定	さぐる 課題追及	深める 東北での修学旅行	広げる 東北修学旅行からの振り返り			
学びのテーマ (単元数案)	第1単元 (5) 【課題を見つけよう】	第2単元 (10) 【東日本大震災を知ろう】 ※別紙2	第3単元 (10) 【特定の地域について 考えよう】	第4単元 (10) 【講話を聴いて考えよう】 ※別紙4	第5単元 (10) 【実際に東北で 体験しよう】	第6単元 (26) 【わが故郷を守ろう】	第6単元 (4) 【振り返りと ワークショップ】
学習内容	1、最寄りの防災センターで体験する。(防災学習の計画) ※別紙1  2、日本の自然環境の特色を学ぶ。(日本の国土や自然環境の特色を捉える)  3、災害と地域の人々の生活や産業の関係を理解する。	1、インターネットや、新聞記事の資料を基に、東日本大震災について探究できるようにする。  2、津波や地震の大きさを知る。  3、災害と地域の人々の生活や産業の関係を理解する。	1、岩手・宮城・福島等の県より深く探究したい地域を選ぶ。※別紙3  2、選定した地域の、「震災前」「震災当時」「現在までの復興の様子」をインターネットや関連図書を通じ学ぶ。	1、特定した地域の【語り部の伝えたい話】を聞くことにより、自分の課題として捉えるようになる。  2、持続可能な【わが故郷】の環境について考えるようになる。(思考・判断・表現)	1、実際に東北に訪れ、遺構を訪れ、現地の方々の話を伺い、直接体験することにより、【生きる力を育む】ための深い学びを行う。  2、万が一災害が起きた場合に生きる行動を、過去の経験から学ぶ。	1、東北で探究したことを基に、これまで使っていた【学校】や【地域】の課題を整理する。  ・避難経路の見直し  ・故郷を守るために、防災ポスターの制作  ・地域への発信	1、地域と自然災害との因果関係を視野にいれながら、探究したことをまとめしていく。  2、地域で配信した結果を検証し、次年度(後輩)に向けまとめ、災害に対して力強く対応出来るようになる。
東北がお手伝い出来る事	・「課題設定」のお手伝い	・東北観光推進機構(東北6県地図、東北まなび旅HP)  ・「3.11伝承ロード機構」HP	・各県パンフレットやHP  ・東北観光推進機構・各県の動画等	・語り部の動画  ・語り部派遣(各県等にて補助をしている場合もございます。※要確認)	・バス代等の助成制度(※各県等にて補助している場合もございます。※要確認)	・「まとめ」に向けて、「旅後」のお手伝い	※参考資料:学校における海の学びのガイドブック 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 編著

# 別紙1：防災センターについて ※仙台市のHPより



仙台市 SENDAI CITY 杜の都

読み上げ 色合い変更 標準 青 黄 黒  
AA 文字の大きさ 標準 大きく さらに大きく  
Google™カスタム検索 サイト内検索  
Foreign Language サイトマップ  
メニュー一覧を表示

ホーム くらしの情報 観光情報・イベント 事業者向け情報 市政情報 メニュー一覧を表示

現在位置 ホーム > くらしの情報 > くらしの安全・安心 > 防災・災害対策 > 災害に備えて > 地域の防災対策 > コミュニティ防災センターとは

いいね！ 0 ツイート LINEで送る 更新日：2019年3月26日

## 地域の防災対策

- 自主防災組織の活動
- 仙台市地域防災リーダー（SBL）
- コミュニティ防災センターとは
- 仙台市地域防災リーダー（SBL）とは
- 各区の活動状況
- バックアップ講習会
- 仙台市地域防災リーダー（SBL）の活動状況

### 目的からさがす

イベントを探す	施設を探す・予約する

## コミュニティ防災センターとは

コミュニティ防災センターとは、市民センター、コミュニティセンターに防災資機材倉庫を併設した施設で、地域住民の自主的な防災活動の拠点として、平常時は地域のコミュニティ活動の一環として防災訓練及び防災知識の普及の場となり、災害発生時には、初期消火や救助活動等地域の自主防災活動の拠点となる施設です。併設する防災資機材倉庫には様々な防災資機材を備蓄しています。

### コミュニティ防災センター一覧

コミュニティ防災センターの名称をクリックすると「せんだいくらしのマップ」へリンクします。地図が表示されるまでに時間がかかる場合がありますが、ご了承ください。

青葉区 宮城野区 若林区 太白区 泉区

#### 青葉区

NO	名称	所在地	建物面積 (平方メートル)	倉庫面積 (平方メートル)
1	<a href="#">小松島 (外部サイトへリンク)</a>	小松島四丁目7番1号	2階建延 574.74	52.05
2	<a href="#">中山 (外部サイトへリンク)</a>	中山三丁目13番1号	2階建延 1,719.78	50.54
3	<a href="#">上杉 (外部サイトへリンク)</a>	上杉四丁目1番45号	3階建延 1,602.73	47.45
4	<a href="#">垣沢 (外部サイトへリンク)</a>	垣沢町6番6号	2階建延 1,008.66	30.00

## 別紙2：東日本大震災を知る

復興庁

**復興庁**  
Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

- 復興に向けた取組
- 広報・報道
- 予算・決算
- 復興関連法令
- お知らせ

復興に向けた取組

- 復興の現状と取組
- 被災自治体支援
- 福島の復興と再生
- 復興交付金制度
- 写真でみる復興の現状
- 國際教育研究拠点
- 住宅再建・復興まちづくり
- 「新しい東北」
- ボランティア・NPO・公益法人等との連携
- 復興推進会議・復興推進委員会
- あなたのまちの復興情報
- 被災者支援
- 産業の復旧・復興に向けて
- 復興特別区域制度
- 男女共同参画
- 復興五輪

### 3.11伝承ロード推進機構

3.11 DENSHO ROAD

一般財団法人 3.11伝承ロード推進機構

Info 3.11 Denso Road Introduction Tour

教訓が、いのちを救う。  
3.11伝承ロード  
3.11 Densho Road

3.11伝承ロード推進機構からのお知らせ

2021年3月24日  
震災直面に住む震災伝承施設（震災分館）整備状況について

2021年2月22日  
「Kataribeon the 3.11DENSHO ROAD」震災設施会場開催しました

PROMOTION MOVIE

「復興の歩み」(岩手県・宮城県・福島県)

岩手県

いわて復興の歩み 第4版（令和元年5月）を発行しました

「いわて復興の歩み」 第4版（令和元年5月）を発行しました

いわて復興の歩み

2011年3月～2019年3月 東日本大震災復興からの復興の歩み

宮城県

震災・復興

「みやぎ・復興の歩み」について

「みやぎ・復興の歩み」について

「みやぎ・復興の歩み」について

「みやぎ・復興の歩み」について

「みやぎ・復興の歩み」について

ふくしま復興ステーション

復興計画

「ふくしま復興のあゆみ」を更新しました。

復興・再生のあゆみ

復興の歩み

その他、マスコミ等による「東日本大震災10年特集」等

## 別紙3：特定地域での深い学び

### 震災遺構の訪問



### 語り部の講話



### 復興への貢献



## 別紙4：講話を聴いて考えよう ※「東北まなび旅HP」より講話を閲覧できます。



### 丸文松島汽船 震災語り部クルーズについて（講演資料の抜粋）



ここ数年 東北には多くの震災遺構が出来まして、多くの語り部があの時の教訓を伝えてあります。当社 丸文松島汽船につきましては営業再開後多くの方々にご乗船頂きましたが、殆どの方が励ましの言葉と同時に「あの時ここはどうだったの？」と質問されました。そんな時 ボランティア活動で来ていた早稲田大学の生徒の皆さんから「辛いかもしれないが、この話は未来のために伝えるべきです」と言われ、それがきっかけで始まったのが震災語り部クルーズになります。

#### 松島復興語り部クルーズ

・写真パネルなど使用し、当時の松島・塩釜の被害状況や体験したことなどを話すのですが、一番伝えたい事は人と人の繋がり交わりなど、今後の人生で一番大事であろうことをお話させていただきます。

#### 東日本大震災

震災時、日本三景松島には約1,800人の観光客の方がおりましたが、湾内に点在する多くの島々のお陰で津波到達時間が他の地域よりも約50分程遅くなった為、避難する時間の猶予が出来ました。

立地条件に恵まれ全員無事に避難することが出来たと言っても過言ではないと思いますが、1978年の宮城県沖地震では、松島町では町と観光施設が連携し避難路線をやってありました。3月11日はその訓練の成果が発揮された日でもありました。

#### 【前ページの補足】

<2011年3月11日 地震発生から津波到達まで>

地震発生 14:46  
津波到達 16:13

津波第一波 3.2m  
第二波 3.8m

#### 津波警報発令

- ・松島町では地震発生から約20分後くらいに避難発令が出ました。
- ・過去に何度か津波注意報等は発令されていたので、まさか！？という思いがった
- ・目の前にある海の海面が下がり、引き潮になったので大津波を確認した。



### 丸文松島汽船 横山純子様の講演（動画で視聴可能です）



# 東北で「学ぶ」ことは、「生きる力」を育てること。

東北の「自然・環境」を学ぶことで、  
将来的に持続可能な環境を考える大人になる

東北の「農林漁業・民泊」を体験することで、  
『ふれあい』を通じ、主体的対話的資質を深める

東北の「歴史・文化」を学ぶことで  
見識を広め、地域で受け継ぐ文化を学ぶ

東北で「震災・防災・減災」を学ぶことで、  
震災・防災・減災に対し、深い学びを行う